

# 四半期報告書

(第30期第2四半期)

株式会社うかい

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	5
1 【株式等の状況】 .....	5
2 【役員の状況】 .....	7
第4 【経理の状況】 .....	8
1 【四半期財務諸表】 .....	9
2 【その他】 .....	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	15

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月10日

【四半期会計期間】 第30期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

【会社名】 株式会社うかい

【英訳名】 UKAI CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大工原 正伸

【本店の所在の場所】 東京都八王子市南浅川町3426番地

【電話番号】 042（666）3333（代表）  
取締役管理部長 潮 一生

【事務連絡者氏名】 兼 危機管理室副室長  
兼 経営企画室副室長

【最寄りの連絡場所】 東京都八王子市南浅川町3426番地

【電話番号】 042（666）3333（代表）  
取締役管理部長 潮 一生

【事務連絡者氏名】 兼 危機管理室副室長  
兼 経営企画室副室長

【縦覧に供する場所】 株式会社うかい 箱根事業所  
（神奈川県足柄下郡箱根町仙石原字品ノ木940番地48）  
株式会社大阪証券取引所  
（大阪府中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期 累計期間	第29期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	5,681,409	11,089,234
経常利益 (千円)	253,148	45,000
四半期純利益又は当期純損失(△) (千円)	127,927	△689,957
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)	—	—
資本金 (千円)	1,291,007	1,291,007
発行済株式総数 (株)	5,229,940	5,229,940
純資産額 (千円)	3,698,988	3,597,890
総資産額 (千円)	11,964,308	12,437,523
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△) (円)	25.98	△140.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	25.89	—
1株当たり配当額 (円)	—	5.0
自己資本比率 (%)	30.6	28.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	508,961	—
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△176,188	—
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△757,601	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	390,750	—

回次	第30期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純損失金額(△) (円)	△0.00

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、持分法を適用すべき会社がないため記載しておりません。
4. 第29期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。
5. 第29期の営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フロー及び現金及び現金同等物の期末残高については、連結財務諸表を作成し、個別キャッシュ・フロー計算書を作成していないため記載しておりません。
6. 第29期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞に一部持ち直しの動きがみられるものの、原子力災害・電力供給問題の長期化、雇用・所得環境の厳しさによる消費マインドの低迷等、本格的な景気回復には至っておりません。また、欧州通貨危機に起因する世界経済の後退懸念や急激な円高の継続などにより、景気の先行きは不透明感が強まっております。

外食産業におきましても、生活防衛意識による支出の減少が続いているなかでの自粛の広がりに加え、食品への放射能汚染問題・食中毒事件の影響による食の安全性に対する不安も加わり、取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした経営環境の下、改めて当社の基本理念である「利は人の喜びの陰にあり」に原点回帰し、その理念や精神をぶらすことなく、「うかいの心と技」の更なる徹底追求をし、社会的責任における企業使命として「食を通じて心を豊かにする」をミッションに掲げ、お客様に求められる新たな価値創造を行っていただける店づくりを推進してまいりました。

業績面につきましては、4月は大震災の影響を受けた個人消費の落ち込みにより大幅に売上が減少したものの、5月にはほぼ前年並みに回復し、6月以降は前年を上回る結果となりました。9月は相次ぐ台風の影響もあり減少しましたが、当第2四半期累計期間では売上高は5,681百万円となりました。利益面に関しては原価上昇の抑制や人件費をはじめとする経費の削減に努めた結果、営業利益310百万円、経常利益253百万円、四半期純利益127百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### 〔飲食事業〕

和食事業では、うかい鳥山は前年並みに推移し、とうふ屋うかい大和田店・東京芝とうふ屋うかいは前年を上回っております。また、うかい竹亭・とうふ屋うかい鷺沼店は来客数の減少を主因に前年を下回り、和食事業全体では売上高2,677百万円とほぼ前年並みになりました。

洋食事業では、八王子うかい亭・横浜うかい亭・あざみ野うかい亭・表参道うかい亭・GRILLうかいの5店舗で前年を上回る売上高となりました。また、銀座うかい亭はいまだ完全回復には至っておらず前年を下回っております。洋食事業全体としては、売上高2,367百万円と前年を上回りました。

その結果、飲食事業としては売上高5,045百万円となりました。

#### 〔文化事業〕

文化事業では、4月は電力不足に伴う交通機関の運休や心理面での旅行の自粛、また海外観光客の激減等の影響により、周辺観光施設を含め地域全体で来館者数が大幅に落ち込みました。5月以降は国内需要に回復の兆しがみられるものの、海外観光客は完全には戻っておらず、本格回復に至っておりません。この結果、売上高は636百万円となりました。

なお、箱根ガラスの森では、春休み・ゴールデンウィークに引き続き夏休みに第3弾として「1 コインチャリティ美術館」と題して、入館料（一律1人500円）すべてを東日本大震災への義援金とする活動を行ってまいりました。引き続き復興に向け、本業を活かして活動をしてまいります。

（注） 前第2四半期は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

#### (2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ424百万円減少し390百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は508百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益243百万円、減価償却費263百万円等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は176百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得141百万円、無形固定資産の取得26百万円等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は757百万円となりました。主な要因は、社債の償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で730百万円、配当金の支払い24百万円等の支出があったためであります。

（注） 前第2四半期は四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成し、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,240,000
計	18,240,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,229,940	5,229,940	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	5,229,940	5,229,940	—	—

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成23年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	—	5,229,940	—	1,291,007	—	1,836,412

## (6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社船井財産コンサルタンツ	東京都港区赤坂8-4-14	820,000	15.67
うかい商事株式会社	東京都八王子市城山手1-11-1	765,000	14.62
鶴飼 正紀	東京都八王子市	550,000	10.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	148,800	2.84
鶴飼 早苗	東京都八王子市	107,600	2.05
松井 隆	大阪府松原市	75,200	1.43
株式会社群馬銀行（常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式 会社）	東京都中央区晴海1-8-12	72,000	1.37
多摩信用金庫	東京都立川市曙町2-8-28	70,800	1.35
大久保 勇	東京都八王子市	65,700	1.25
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川2-27-2	57,600	1.10
計	—	2,732,700	52.25

(注) 1. 上記のほか当社所有の自己株式306,356株(5.85%)があります。

2. 「発行済株式総数に対する所有株式数の割合」は、小数点第3位を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 306,300	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,922,500	49,225	—
単元未満株式	普通株式 1,140	—	—
発行済株式総数	5,229,940	—	—
総株主の議決権	—	49,225	—

② 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社うかい	東京都八王子市南浅川町 3426番地	306,300	—	306,300	5.86
計	—	306,300	—	306,300	5.86

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。）に基づいて作成しております。なお、前第2四半期累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）は四半期財務諸表を作成していないため、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報は記載しておりません。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,579	390,750
売掛金	174,445	297,967
商品及び製品	139,952	153,071
原材料及び貯蔵品	235,544	257,803
繰延税金資産	57,979	78,869
その他	158,565	144,879
貸倒引当金	△2,363	△108
流動資産合計	1,579,702	1,323,233
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,890,948	8,963,872
減価償却累計額	△4,171,852	△4,331,133
建物（純額）	4,719,096	4,632,738
土地	2,406,750	2,406,750
建設仮勘定	82,043	75,254
美術骨董品	1,079,605	1,077,576
その他	3,022,296	3,109,653
減価償却累計額	△2,168,370	△2,254,408
その他（純額）	853,925	855,245
有形固定資産合計	9,141,421	9,047,564
無形固定資産	104,368	106,942
投資その他の資産		
投資有価証券	25,297	22,608
繰延税金資産	512,661	383,793
敷金及び保証金	995,864	990,198
その他	78,208	89,968
投資その他の資産合計	1,612,031	1,486,567
固定資産合計	10,857,821	10,641,075
資産合計	12,437,523	11,964,308

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	163,517	229,777
1年内償還予定の社債	477,000	437,000
短期借入金	550,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,928,377	1,796,671
未払法人税等	26,777	20,488
賞与引当金	45,482	113,130
その他	651,311	619,766
流動負債合計	3,842,465	4,066,833
固定負債		
社債	800,000	601,500
長期借入金	3,415,458	2,764,838
退職給付引当金	617,196	633,674
資産除去債務	111,725	112,976
その他	52,788	85,497
固定負債合計	4,997,168	4,198,487
負債合計	8,839,633	8,265,320
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	994,446	1,097,755
自己株式	△563,100	△563,140
株主資本合計	3,558,765	3,662,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,433	2,262
評価・換算差額等合計	4,433	2,262
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	3,597,890	3,698,988
負債純資産合計	12,437,523	11,964,308

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,681,409
売上原価	2,614,209
売上総利益	3,067,200
販売費及び一般管理費	
販売促進費	124,446
役員報酬	83,311
給料及び手当	904,520
賞与引当金繰入額	65,197
退職給付費用	24,297
福利厚生費	156,616
水道光熱費	96,675
消耗品費	81,572
修繕費	80,018
衛生費	100,327
租税公課	68,615
賃借料	351,725
減価償却費	186,861
その他	432,145
販売費及び一般管理費合計	2,756,331
営業利益	310,868
営業外収益	
受取利息	2,524
受取配当金	309
保険解約返戻金	3,195
保険配当金	3,668
その他	7,256
営業外収益合計	16,954
営業外費用	
支払利息	61,009
社債利息	5,018
その他	8,647
営業外費用合計	74,674
経常利益	253,148
特別損失	
固定資産除却損	4,903
台風による災害損失	4,746
特別損失合計	9,650
税引前四半期純利益	243,498
法人税、住民税及び事業税	7,075
法人税等調整額	108,496
法人税等合計	115,571
四半期純利益	127,927

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	243,498
減価償却費	263,600
固定資産除却損	4,903
台風による災害損失	4,746
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,478
受取利息及び受取配当金	△2,833
支払利息	66,027
保険解約返戻金	△3,195
売上債権の増減額 (△は増加)	△123,522
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,378
仕入債務の増減額 (△は減少)	66,260
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,673
その他	61,458
小計	579,717
利息及び配当金の受取額	209
利息の支払額	△56,815
法人税等の支払額	△14,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△141,385
その他	△34,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,188
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△982,326
社債の償還による支出	△238,500
配当金の支払額	△24,668
その他	△12,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△757,601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△424,828
現金及び現金同等物の期首残高	815,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 390,750

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に記載されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金	390,750千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	— 千円
現金及び現金同等物	390,750千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	49,237	10	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	24,618	5	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,045,337	636,072	5,681,409	—	5,681,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,045,337	636,072	5,681,409	—	5,681,409
セグメント利益	671,020	57,816	728,836	△417,968	310,868

(注) 1. セグメント利益の調整額△417,968千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	25円98銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額 (千円)	127,927
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	127,927
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,923,588
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	25円89銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額 (千円)	—
普通株式増加数 (株)	18,488
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社うかい

取締役会 御中

あらた監査法人

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 友 田 和 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社うかいの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第30期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社うかいの平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	確認書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の8第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	平成23年11月10日
<b>【会社名】</b>	株式会社うかい
<b>【英訳名】</b>	UKAI CO., LTD.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 大工原 正伸
<b>【最高財務責任者の役職氏名】</b>	該当事項はありません。
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都八王子市南浅川町3426番地
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社うかい 箱根事業所 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原字品ノ木940番地48) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長大工原正伸は、当社の第30期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。